

令和6年8月定例記者会見

質疑応答の概要

①ひきこもりに関する生活状況アンケート調査の実施

Q.

調査方法として、全世帯を対象にアンケートを送付し、対象者から返送いただく方法との理解で宜しいでしょうか。

A.地域福祉課長

住民票を置いていない方でひきこもり状態にある方もいる可能性があるため、全世帯に対してアンケート用紙をお送りし、対象者がいればご回答いただくことにしています。対象者がいない場合は、対象者なしにチェックマークを入れてご返送いただく形です。

Q.

具体的な世帯数など把握している数があれば教えてください。

A.地域福祉課長

7月10日現在の世帯を対象としており、2万589世帯の世帯主の方にお送りします。6月末現在でひきこもりの方がいる世帯として把握しているのが49世帯ですが、今回の調査を機に他に該当する世帯がないか調査していきたいと考えております。

Q.

初めての調査とのことですが、49世帯をどのように把握されたのですか。

A.地域福祉課長

地域福祉課の保健師が相談の中で抱えている件数のほか、アウトリーチ支援として自立支援センターに委託し、そこでもひきこもり支援を行っており、合計した世帯が49世帯となります。

Q.

今の時点で具体的な計画や案があれば教えてください。

A.地域福祉課長

現在のところ、具体的な案はできていませんが、国から居場所づくりということを求められています。ひきこもりがちな方、世代別によってもニーズや居場所は違うと思われるので、そのあたりをアンケート結果から分析してまいります。

Q.

現状を把握して必要に応じて居場所づくりを行うとの考え方でよろしいでしょうか。

A.地域福祉課長

一つとして、ひきこもりに関する居場所づくりではありますが、居場所だけではなく他に事業展開が必要となることもありますので、その際は、具体的に協議を進めていきます。

③軟骨伝導イヤホンの設置

Q.

他の自治体の設置状況を教えてください。

A.地域福祉課長

県内で設置している自治体は、ホームページ上の情報ではありますが、亶理町で導入しています。本市は県内で2例目となります。

⑤市制施行8周年記念「花火プロジェクト」協賛金の募集

Q.

集める目標額はありますか。また、何発打ち上げるのか決まっていれば教えてください。

A.企画政策課長

例年花火は、1038発打ち上げており100万円を目標に募集をかけております。

⑥ユニセフ第2回東アジア・太平洋地域子どもにやさしいまち会議への出席

Q.

子どもの参加ということで、具体的にどのような取り組みについて講演しますか。

A.とみや子育て支援センター所長

教育委員会で行っている生徒会サミットや市民協働課のわくわく子どもミーティング、建設部関係では橋の色の塗り替え作業など、子どもたちからの意見を聞きながら進めており、全庁を挙げて子どもの意見を吸い上げて取り組んでいることを会議で話す予定です。

Q.

テーマ別討論とのことですが、形式としてはどのような形になりますか。

A.とみや子育て支援センター所長

中国ユニセフと東アジア・太平洋地域事務所が主催となっておりますが、まずテーマごとに基調講演が行われ、その後に、テーマに沿ったディスカッションを行うこととなっております。市長は、「子どもの参加」というテーマのディスカッションに登壇します。

Q.

このような国際会議に参加する意義と意気込みを聞かせてください。

A.市長

子どもにやさしいまちづくり(CFCI)が重要としているのが、子ども権利ということで、子どもたちの意見や声をいかにまちづくりに取り入れ、生かしていくかが重要となります。本市ではさまざまな場面において子どもたちの声を取り入れ、総合計画の審議会にも中学生にオブザーバーとして参加していただいております。全庁をあげて取り組み、毎年成果を評価し子どもたちにも伝えていきます。こういった取り組みが評価され日本代表として出席することになりました。国際会議ということで、他の国がどういった取り組みを行っているか知る機会になりますので、今後の市の子どもにやさしいまちづくりに生かしてまいります。

⑦「森の公園ツリーハウスプロジェクト」2024年度 日本環境共生学会 学会賞 環境活動賞受賞

Q.

どのような点が高い評価を受けたか教えてください。

A.都市計画課長

森の公園ツリーハウスプロジェクトが自然との調和、自然資源を活かし、地域の振興となるツリーハウスを住民とともに創造した点が評価されました。

Q.

設置してから2カ月ほどたつが利用状況や市民からの声は届いているか教えてください。

A.都市計画課長

ツリーハウスが設置されている大亀山森林公園は、今年度実証実験としてNPO法人SCRに委託して、毎月イベントを開催しており、参加いただいた方から好評のお声をいただいております。

Q.

受賞した感想や想いを聞かせてください。

A.市長

この春にツリーハウスが完成し、短期間で受賞となったのは、スピーディーな受賞であり、うれしく思っております。富谷のシンボルとなる大亀山森林公園を新たな活性化に向けて、行政が主体的に予算を組んで行うのではなく、市民参加型でツリーハウスを作り上げ、参加した親子や市民の方が継続的に大亀山森林公園に足を運んでいただいております。自然と共生しながら新しい市民参加型の取組を行った点が評価されました。さらに、大亀山森林公

園の魅力をたくさんの方に知ってもらいたいと考えており、受賞を機に、公園の持つ魅力や可能性を発信していき、より多くの皆さんに来ていただきたいと思っております。

Q

プロジェクトの実施主体をどこになりますか。

A.都市計画課長

実施主体は、市で予算化し NPO 法人 S C R に委託して行っております。

Q

受賞した環境活動賞は最高賞ですか。他に賞があれば教えてください。

A.都市計画課長

順位があるものではなく、環境活動賞の他に功労賞、学術賞、論文賞、著述賞があり、今回本市が受賞したのが環境活動賞であります。

令和 6 年第 3 回富谷市議会定例会提出議案に関すること

Q

補正予算の (1) 農業経営者支援事業・原油価格物価高騰対応 (2) 乳牛等生産者支援事業・原油価格物価高騰対応について、昨年引き続きの支援とのことですが、支援金の額は同じでしょうか。また、支援は今回で 2 回目でしょうか。

A.農林振興課長

今年度に関しては資材高騰支援として 10 a あたり 5,500 円の支援を行い、昨年度は資材高騰支援として 10 a あたり 5,000 円の支援と米価下落支援として 10 a あたり 3,300 円の支援を行っております。

A.市長

一昨年度は、米価下落分と資材高騰分を合わせて、米農家に対して 10 a あたり 11,000 円、園芸農家に対して 10 a あたり 4,000 円の支援を行い、昨年度は、一昨年度に比べると米価下落が落ち着いたこともあり、米農家に対して 10 a あたり 8,300 円の支援を行いました。今年度については、米価下落の影響がなくなったこともあり、資材高騰支援として 10 a あたり 5,500 円の支援を行うことといたしました。金額は、11,000 円、8,300 円、5,500 円と下がっているが、市の独自支援策として行い、同じような支援は他の自治体では少ないと思えます。

Q

乳牛等生産者支援事業・原油価格物価高騰対応の支援額を再度教えてください。

A.農林振興課長

繁殖牛の成牛が 7,000 円、子牛が 5,000 円、乳牛の成牛が 11,000 円、子牛が 5,000 円の支援です。

Q

補正内容の成田中学校に隣接する市道の安全対策について、具体的にどのような安全対策を行うのか教えてください。

A.都市整備課長

市道成田 6-86 号線は、交通量も多く成田中学校にも隣接している道路であり、ドライバーに対して注意喚起を促すためにラバーポール、車線分離票の設置、カラー塗装を行い、ドライバーに対して減速を促すための対策を講じます。

Q

小中学校のタブレット端末の更新をすると校内ネットワークの調査分析が必要とのことだが、その因果関係を教えてください。

A.学校教育課長

更新にあたり計画書の作成が義務付けられており、計画書において調査分析・アセスメントを調査することが要件になっております。